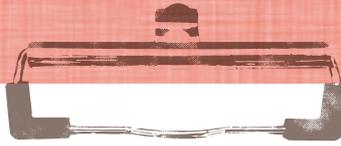


飼育日誌



1/2	アムールトラ	9/29生まれの四つ子と母カサンドラ♀ 屋外展示訓練。
1/3	シセンレッサーパンダ	親子体重測定実施。ゆり♀6.7kg、かんた♂7.4kg、ひなた♂5.1kg
1/8	ニホンイヌワシ	信濃♂×たつ♀ 交尾行動あり。
1/11	タンチョウ	シゲタ♂が仕切りネットの穴から、ミッチー♀の展示場に入り込む。2羽共に落ち着いた様子のためこのまま同居。
1/12	ニホンイヌワシ	信濃♂×たつ♀、風斗♂×西目♀の交尾行動確認。
1/13	アフリカゾウ	だいすけ♂ 右後肢の薬浴馴致実施。
	ポニー	体重測定実施。エニフ85.0kg、セレナ73.9kg、エルフィー75.6kg
1/16	シマフクロウ	愛花♀ 健康チェック及び採血、嘴整形を実施する。
1/17	ニホンイヌワシ	涼風♂ 秋空♂の採血及び健康チェックを行う。
2/2	ニホンイヌワシ	風斗♂×西目♀ 1卵目産卵。
2/6	ニホンリス	スー♀、朝、巣箱内で死亡を確認。死亡時期は2/4午後～2/5朝と推定される。
2/9	ニホンイヌワシ	風斗♂×西目♀ 関係悪化で抱卵が不安定。2卵を採卵し、孵卵器へ入卵。
	ニホンイヌワシ	信濃♂×たつ♀ 1卵の産卵を確認。
2/10	プレーリードッグ	ジャン♂ 歯切り・治療。ビビ♂ 歯切り。
2/14	アムールトラ	カサンドラ♀ 夕方の採食時に仔を激しく威嚇し、追い払う行動あり。
2/15	キリン	リンリン♀ 25分間の定点目視で胎動を確認。
2/26	アフリカゾウ	だいすけ♂とリリー♀の採血、リリーの採尿と採糞を実施。
	シセンレッサーパンダ	小百合♀ 収容後に恋鳴きあり。明日以降、かんた♂、ひなた♂と分けて飼育。
3/3	ツキノワグマ	冬ごもり終了し、給餌開始。
3/14	ユキヒョウ	採血トレーニング実施。
3/15	ニホンイヌワシ	信濃♂×たつ♀ 孵化の兆し未だなし。
3/25	アムールトラ	ヒロシ♂ 外フェンス越しに吻タッチトレーニング。
3/29	プレーリードッグ	性別不明2頭の出生確認。
3/31	ノドジロオマキザル	カオル♀ 朝に出産。仔は網から床面に落ち、すぐに回収。死亡を確認。
4/3	ニホンイヌワシ	西目♀ 抱卵放棄のため卵回収。たつ♀に抱かせる。
4/4	マーコール	08♂ 夕方突然、呼吸困難症状が出る。4/5死亡。
4/11	プレーリードッグ	3/29生まれ個体(性別不明)2頭が食害により死亡したと思われる。

4/17	ニホンイヌワシ	信濃♂×たつ♀ 抱卵放棄のため確認。ふ化の可能性なしと判断し、回収。
4/20	アフリカゾウ	だいすけ♂ 前日に続いて出舎拒否。
4/26	アフリカゾウ	だいすけ♂ 右後肢薬浴。
	シロフクロウ	ムース♂×チップ♀ 産卵確認。
5/2	タンチョウ	シゲタ♂×みっち♀ 1卵目産卵。
5/7	チンパンジー	ルイ♀とコタロウ♂ 同居する。
5/8	チンパンジー	J太郎♂とコタロウ♂のお見合い実施。
	シンリンオオカミ	ジュディ♀ 朝、姿が見えず。昼前に展示場のプール近くの穴に潜んでいるのを発見。午後、穴から出ていたため、5人で穴を埋める作業を実施。
5/9	アメリカビバー	チャチャ♀ 乳頭部腫脹を確認(妊娠の可能性あり)。
5/13	イワシャコ	♀(赤黄)産卵。自ら食卵して殻だけになっていた。
5/19	スバルバルライチョウ	♀ 頭部の羽色が茶色く変化。
5/21	キョン	ハルカ♀ 性別不明の1頭出産。
5/22	アフリカゾウ	だいすけ♂ 右後肢穴部位モーズペースト薬浴実施。
5/31	アフリカタテガミヤマアラシ	ハルマキ♂とチョモ♀が同居。マウント行動あり。
6/7	アメリカビバー	仔2頭が水飲みバットで泳ぐ練習をしていた。
6/15	タンチョウ	シゲタ♂×みっち♀ 無精卵であることを確認。卵を回収。
	タンチョウ	鶴太郎♂ 神戸市王子動物園へ搬出。
6/20	アメリカビバー	仔2頭、体重測定。(大 体重898g、小 体重773g)
	トナカイ	♂3頭の同居訓練実施。トナカイ放牧場除草作業。
6/21	アムールトラ	月♀ 翌日、いしかわ動物園へ搬出のため、部屋隔離、絶食絶食。
6/29	キリン	リンリン♀ 午前にこれまでで最大の胎動確認。午後は陰部腫脹が増大。
	スバルバルライチョウ	♀換羽終了。
7/3	ジャンボウサギ	ヨシオ♂ 胸元の脱毛と赤み確認。菌の可能性あり。赤み箇所抗生剤・抗真菌剤を混ぜて1日1回塗布。
7/9	チンパンジー	コタロウ♂とルイ♀ 同居。
	アムールトラ	カサンドラ♀ 室内の産箱撤去。
7/20	シフゾウ	サリー♀ 起立できず。午前、午後の2回、治療および褥瘡対策として体位変更。
7/28	シフゾウ	サリー♀ 朝8時死亡しているのを確認。
7/29	チンパンジー	コタロウ♂とJ太郎♂ 同居。
7/30	キリン	親2頭は展示場、仔はパドック放飼(親が展示場にいる状態では初)

お客様の声

- 1月19日 2016年の鳥インフルの本を読みました。たくさん動物が命を落としたことを知らず、いなくなったな〜くらいに思っていました。今回その説明を読んで良かったです。
- 1月25日 キリンエサ販売時、12/7に行われたエンリッチメント大賞の授賞式に参加された、東京からいらっやっったお客様から「受賞おめでとうございます」とお祝いの言葉を頂きました。(キリン飼育担当)
- 2月29日 飼育員さんが動物の名前を含めて説明してくれたが、離れた後で、名前を間違えていたとわざわざ伝えに来てくれた。素晴らしい対応だと思います。その他、トラの展示で子供を優先するスペースを設けたり、見せ方を工夫したり心遣いは東北1だと思えます。
- 3月23日 トラの4つ子の展示のタイミングでなかったのが残念でした。リスのリーとスーが亡くなっていたのも残念でした。でも皆生きているのを実感できました。
- 5月31日 開園ができてうれしいですね。感染対策など動物園のスタッフの方々、前より忙しくなったと思います。皆様お体大切にしてください。
- 6月28日 子供の頃から利用しています。40年近く、親子3代で利用しています。
- 7月11日 フクロウのごはんタイムに遭遇できました。鶏肉を食べているのは意外でした！貴重なごはんタイム家族だけに見れた！雨の日意外といいかも！

かたばた通信

2020年の春は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ゴールデンウィーク期間を含む4月18日から5月10日までの23日間を臨時休園としました。来園者がいない日々が続くことで、園内の動物たちも何か様子がおかしいと思っていたのではないのでしょうか。再開園してからも、来園された方々がマスクを着用し、静かに観覧されていることで、動物園本来の姿とは異なる雰囲気となっております。それでも、動物の赤ちゃんが続いて誕生するなどの明るいニュースもあり、多くの親子連れや、若者たちが足を運んで来ております。今後も、新型コロナウイルス感染症の早期の収束を願いつつ、必要な対策を講じながら、来園される方々の笑顔のため、大森山動物園の職員全員が一丸となってがんばっていきたく思います。

(事務長 菅原 健明)